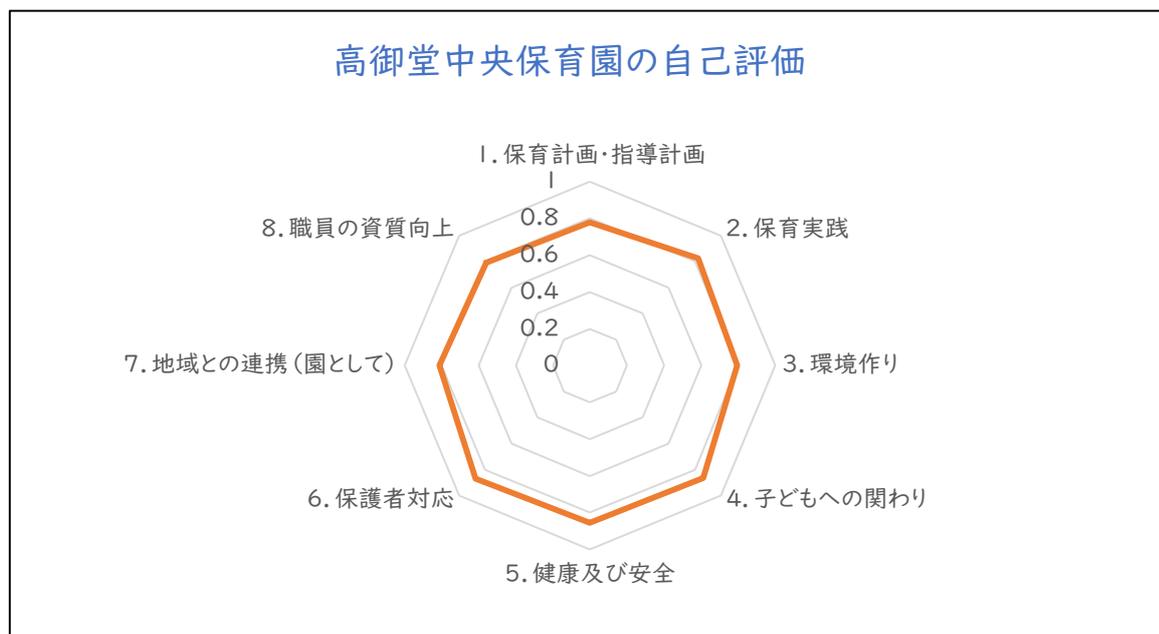


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



#### 【総評】

保育実践では、「一人一人の発達特性に配慮した援助」や「稲沢市がめざす『子どもを尊重する保育』を意識した保育」という項目に対して高い評価が表れ、一人一人の子どもを理解することや、個に合わせた実践を心掛けている職員が多くいます。その姿勢が「一人一人を大切に、その思いを受け止め、丁寧に関わる」という子どもへの関わりに繋がっています。

また、地域の小学校と保育園それぞれの職員間で学び合う機会を持つことができ、子ども達がスムーズに小学校生活へ移行できるような支援を考える取り組みを進めています。



おまつりごっこ



制作あそびの様子



節分まめまき

#### 【今後の課題】

今までの自己評価をしっかりと活かせなかった職員が多かったため、一人一人が自分の評価を振り返り、保育の資質向上のために職員間での学びと共通理解を深め、保育の計画や実践に繋げていくことを目指します。

また、保育の環境作りについては、保育所保育指針の理解を深めながら、子どもの日頃の姿や興味が活かして子どもが主体的に関わることができるような工夫に心掛け、安全面にもしっかり留意していきます。